

令和5年9月 川口市議会定例会

市長の所信と報告

川 口 市

本日、9月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

先の埼玉県知事選挙におきまして、本市出身の大野知事が見事再選を果たし、引き続き県政を担われることになりました。川口市にとっても誠に喜ばしい限りであり、今後も県と強固な連携のもと様々な事業が推進されることを大いに期待するところであります。

それでは、提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

今年は4年ぶりに行動制限のない夏となり、この夏休みに開催した「夜のいきもの観察会」は、より多くの子どもたちに参加していただけるよう、イイナパーク川口での開催数を増やし、さらにグリーンセンターでも実施いたしました。未来を担う子どもたちに自然の中で様々なことを学んでほしいとの思いから、私が生物多様性の拠点として整備を進めてきたこれらの施設で、歓声をあげて生きものと触れ合い、熱心に観察する子どもたちの姿を見ることは大変うれしいことでありました。さらに参加した保護者の方々からは貴重な体験の機会であったとの感謝の言葉をいただき、改めて、川口の豊かな自然を保全し未来に繋げる私の責務を強く感じた次第であります。

また、去る7月29日から2日間にわたりオートレース場で開催した、本市の夏の風物詩である「第43回たたら祭り」は、猛暑にもかかわらず、約30万3千人の方にご来場いただき、4年ぶりに復活した流し踊りなどが祭りを大いに盛り上げ、フィナーレには、市制施行90周年を祝う花火が美しく夜空を彩りました。

この夏は多くの行事が復活し、本当に楽しそうな皆さんとお会いすることができ、住む人を笑顔にするまちこそが、私が目指すいつまでも住み続けたい「さらなる選ばれるまち川口」であり続けることに繋がるものと確信し、今後も、様々なまちづくり施策に積極的に取り組んで参ります。

さて、本年は、関東大震災から100年という節目の年を迎えました。この間にも、阪神・淡路大震災や東日本大震災などのほか、近年台風等により、記録的な大雨や局地的な集中豪雨による水害が日本各地で発生し、甚大な被害をもたらしております。私は、いつ起こるかわからない災害に対して、日頃の備えが何よりも重要であると、改めて痛感しているところであります。

私は、これまでも、全ての小中学校施設の耐震化をはじめ、防災井戸や防災公園の整備、下水道や公園等の地下を利用した雨水貯留施設や調節池の整備、国・県と連携した治水対策などを積極的に進めるとともに、実災害を踏まえた指定緊急避難場所の見直しや見やすいハザードマップの配布など、災害に備え防災機能を強化してきたところであります。しかしながら、将来高い確率で発生するとされる首都直下地震や、地球温暖化の影響等により頻発化・甚大化が進む水害の脅威に対し、更なる防災対策の強化を図るため、策定から10年が経過する「川口市地域防災計画」を全面改定して参ります。今改定では、中核市への移行や災害対策本部の拠点となる第一本庁舎の完成などの状況の変化を踏まえ、新たな被害想定のもと大規模災害時の迅速かつ的確な対応と、行政機能の継続性も確保する実践的な計画といたすものであります。

今後も、防災・減災体制の更なる強化に努め、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進に努めて参る所存であります。

それでは、市政に関しまして、数点ご報告を申し上げます。

第1点は、川口市市産品フェア2023についてであります。

本市の高い技術と伝統を誇る市産品の知名度向上や販路拡大と、地産地消を機軸とした市内経済の好循環により地域経済の活性化を図りたいとの思いから始めた市産品フェアも今年で9回目を迎え、本市の一大イベントとして定着いたしました。

昨年度はコロナ禍にあっても、2万人を超える方にご来場いただき、商談件数も2,427件と過去最高を記録し、今年度も、これまでで最多となる150の企業・団体が195ブースの出展を見込むなど市内事業者の関心の高さを実感したところであります。

今年は、SKIPシティの整備が始まったことから、会場をオートレース場に変更の上、10月27日から3日間開催し、更なる商談の促進を図る新たな取り組みとして、職員が建設や製造に係わる市外の産業団体に直接訪問する招致活動などを行って参ります。

今後も、優れた技術や製品を市内外へ向けPRし、市内中小企業の売り上げの向上、販路拡大の一助となるよう、フェアの成功に向け全力で取り組んで参ります。

第2点は、手術支援ロボットの導入についてであります。

現代の医療技術は、日進月歩で進化しており、市民の皆さんに安全で質の高い医療を提供するためには、優秀な医療スタッフの確保と育成体制を構築した上で、最新の高度医療機器を導入・更新し、診療を行うことが不可欠であります。

こうした考えから、これまで医療センター内に高精度放射線治療装置やMR I 装置などを取り入れ、今年度は、新たに手術支援ロボットを導入し、今月下旬から手術ができるよう準備を進めているところであります。

この手術支援ロボットの導入により、傷口が小さく、術中の出血や術後の疼痛が少なく、回復が早いなど患者への身体的負担を軽減させる利点に加え、術者にも狭い空間で精密な作業を正確に行うことができるなどの利点があり、より精度の高い手術の提供が期待できるものであります。

今後も、医療センターが地域の基幹病院として高度急性期医療を担い、より一層質の高い医療を提供できるよう最新の高度医療機器の導入等を進めて参ります。

第3点は、都市基盤整備についてであります。

土地区画整理事業は、施行地区内の地権者が土地を出し合い、道路、公園、調整池などの公共施設を整備することにより、新たな市街地の形成を図る有効なまちづくりの事業手法であります。

しかしながら、地権者との交渉などに多大な時間を要することに加え、道路の拡幅や調整池整備のための用地確保が部分的になるなど、整備が長期間進まない状況が続いており、大雨の際に道路の一部が冠水し通行止めになり、地域の方々にご不便をおかけする事案も発生している次第であります。

こうしたことから私は、これまでの事業用地がすべて確保できてから公共施設の整備を進めるのではなく、一部でも用地の確保ができれば適宜整備をすることとしたものであります。今年度は、台風第2号により冠水した石神西立野特定土地区画整理事業地区内の県道吉場安行東京線の冠水対策として、一部確保できている用地に調整池を先行して整備して参ります。こうした部分的な整備が連鎖的

に結びつき、結果的には事業の早期完了に繋がり、さらに、近隣の住民や沿道の関係者にもご協力がいただけるものと確信しております。

今後も、施行区域内の地権者の皆さんの声を聞きながら、地域の状況に応じた都市基盤整備の推進に努めて参る所存であります。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案3件、条例等の一般議案21件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、川口総合文化センター大規模改修に伴う執務室移転業務費等に係る20億7,936万円の補正を、また特別会計では、介護保険事業特別会計をはじめ2会計において、8,528万2千円の補正をそれぞれお願いするものであります。

次に、一般議案であります、「川口市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案4件、訴えの提起議案1件、市道路線の認定議案2件、決算認定議案4件、人事議案3件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますようお願いを申し上げます次第であります。